

KAGAWA アンバサダーからのお便り ～山田吟子さん～

香川の皆さん、お元気ですか。

イタリア フィレンツェ在住 38 年の山田吟子です。

34 年間フィレンツェのオペラ劇場で歌ってまいりましたが、昨年定年を迎え生活拠点をフィレンツェから高松に移し、ふるさとに帰ってまいりました。

この 2 年というもの、世界中の人々がコロナと言う未知なる感染症に苦しみ、私たちの生活に多くの支障をきたし不自由な生活を余儀無くされていますが、その間のフィレンツェでの劇場の様子、また生活情報などをお伝えしたいと思います。

日本では、2020 年 1 月に横浜港に入港したダイヤモンドプリンセス号から急激にコロナ感染が増加しましたが、イタリアでは北イタリアから感染が全土に広がり多くの犠牲者を出し、医療崩壊が起こった事はご存知の方も多いかと思えます。

私も 2020 年 3 月から約 2 ヶ月半のロックダウン(都市封鎖)をフィレンツェで経験しましたが、自由に外出もできず先の見えない大変厳しい生活環境の中、人々に希望と勇気を与えてくれたのは、やはり音楽でした。

イタリア人は感情表現がとても豊かで情に厚く、家族や地域の絆を大切にし、音楽が大好きな陽気な国民性をもっています。

この非常時に至っても、医療従事者に音楽を通じてエールを送りこの困難を皆で団結して乗り越えようという動きがどこからともなく生まれ、イタリア全土に広がりました。

フィレンツェでは毎日 17 時から各家の窓際で音楽を奏でようという動きが広がり、私も外出禁止命令の中、毎日時間が来るとピアノを弾き歌を歌う事が日課となり、近所の人達とバルコニー越しにコミュニケーションをとっていた事を思い出します。



2021 年 11 月のフィレンツェでのグラッシナ合唱団とのコンサート

そして、2 ヶ月半のロックダウンも少しずつ緩和し始めた頃、いち早く活動が再開したのが、オペラ劇場でした。

オペラは 1597 年にフィレンツェで生まれ、今も尚人々に愛され続け、イタリア各地にあるオペラ劇場で絶えることなく上演されているイタリアの伝統芸術です。

緊急事態のコロナ禍にあり、日本では劇場での公演は一番に 3 密をさけなければならない場所とされていますが、歴史的に根付いている音楽と共に生きるイタリア人にとって、オペラ劇場文化はとても重要で、ロックダウン解除後に最も早く野外で上演を再開したフィレンツェのオペラ劇場は、人々に勇気と希望を与えるひとつの要因となった事は過言ではありません。

しかしその後第 2 波として感染者が再び増し、それでも上演し続けた理由としては音楽への情熱だけではなく、やはり劇場経済をまわしていくためでもありました。

しかし、上演回数の減少や演奏者人数の縮小、オペラ劇場版をコンサート形式に変更したり、またこのパンデミックにより今では流行となったインターネットでのコンサート動画配信等、経済的打撃を極力避けながらこの非常事態時をどうにかして生き残ろうと試行錯誤しながら現在に至っています。

私は去年 11 月にイタリアを訪問した際劇場にも足を運びましたが、もちろんマスクの着用、アルコール消毒以外に、グリーンパス〔2 回のワクチン接種証明〕の所持が義務付けられてはいたものの、人気のオペラやコンサートなどは、劇場は観客でいっぱいでした。

そして、2011 年イタリア建国 150 周年に国の援助で新しく建てられたフィレンツェのオペラ劇場内に、昨年、EU からの補助金を受けもうひとつ新しいホールの建設が終了し、12 月 21 日にはイタリア大統領を初め政財界の著名人を向かえ、豪華にオープニングコンサートがありました。

再び未知なるオミクロン株の感染でイタリアは第 3 波に突入し大変厳しい状況になっており、このニュースは賛否両論もありましたが、イタリア全土へのテレビ生中継はやはり音楽を愛するイタリア人にとっては、誇り高くうれしいニュースだったと思います。



34 年間歌ってきたフィレンツェ歌劇場芸術合唱団への訪問

現在は、イタリアのコロナ オミクロン感染者の数は 1 日 10 万人を大幅に越え、第3回のワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、その感染力は非常に強く、医療従事者の感染も増加し医療崩壊寸前に達しているそうです。

そしてイタリアではヨーロッパで始めて 50 歳以上の国民全員にワクチン摂取が義務化され非所持者には罰金制度もあり、グリーンパス無しでは行動範囲がますます狭くなり大変厳しい状態にあるようです。

しかし、経済をまわしていくためにも、ロックダウンではなく極力 with corona で今回も乗り切っていこうと頑張っています。

今では、劇場の演奏者の中でも感染が広がりつつあるようですし、これからは劇場運営もますます難しくなりそうですが、私たちの周りにある音楽は決して耐えることなく、いつの日も世界中の人々に元気と希望を与えてくれると信じています。



常任指揮者、マエストロ
ズービンメータとの再会



山田 吟子（やまだ ぎんこ）さん

高松市出身。令和元年末までの 34 年間、フィレンツェオペラ劇場に所属。劇場の世界オペラツアーに参加し、ヨーロッパをはじめ南米、中東アジア、中国などを回る。劇場外の活動として、コーラス団の指揮指導、小学生の音楽教育や養護施設でのボランティア活動等を行ってきた。

◇ KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国やご自身の活動等についてご紹介いただくものです。